

自分のアドレスを相手に知られずにメールに返信できたり
届くメールの送信者のメールアドレスを匿名化することで
個人情報を守ることを目的としたシステムです



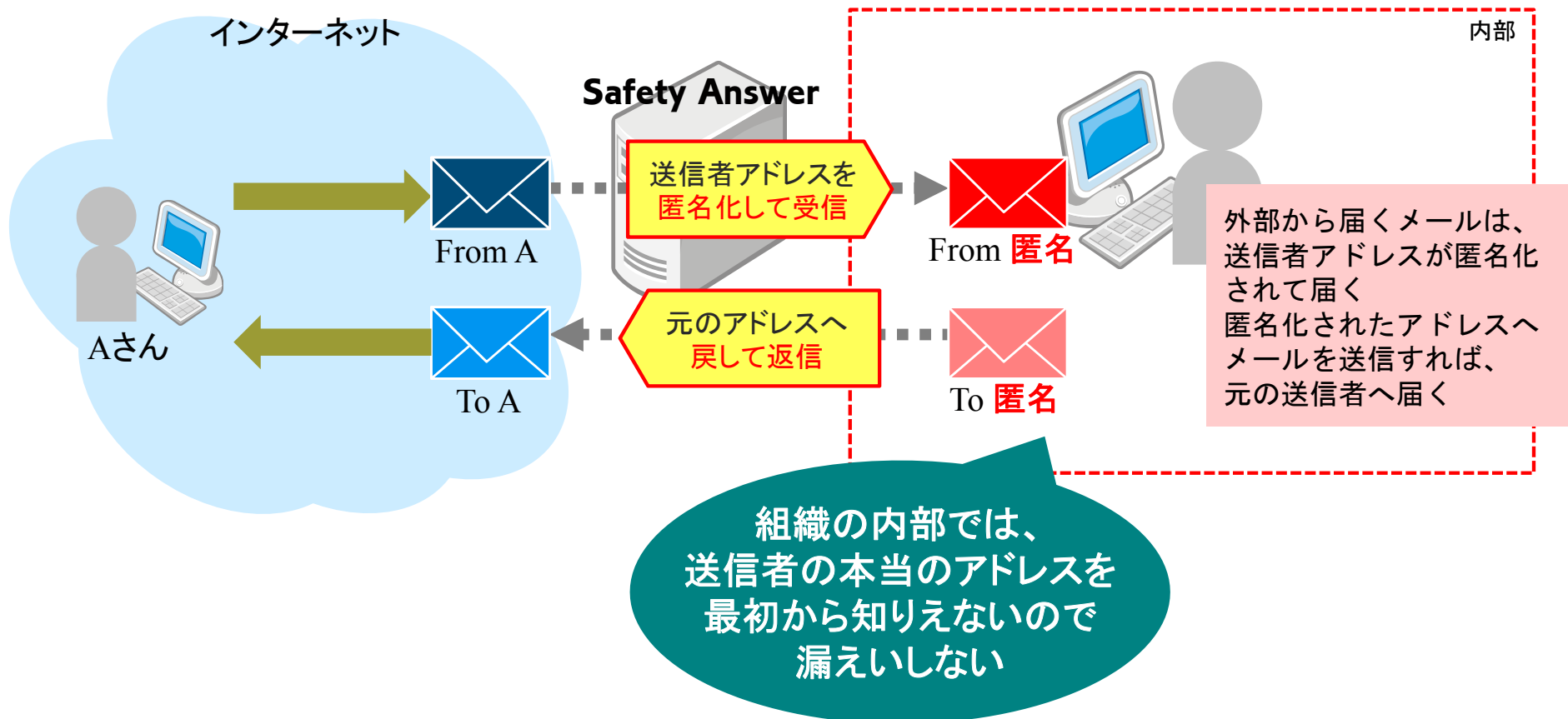
Inter-Individual Mail Solution System **XES/IMS**



1. Safety Answer で何ができる？（1）

故意、事故に関わらず、メールアドレスの漏えいを防ぐ

組織へ届くメールの送信者メールアドレスを全て匿名化することにより、個人情報としてのメールアドレスの漏えいを防ぎます。

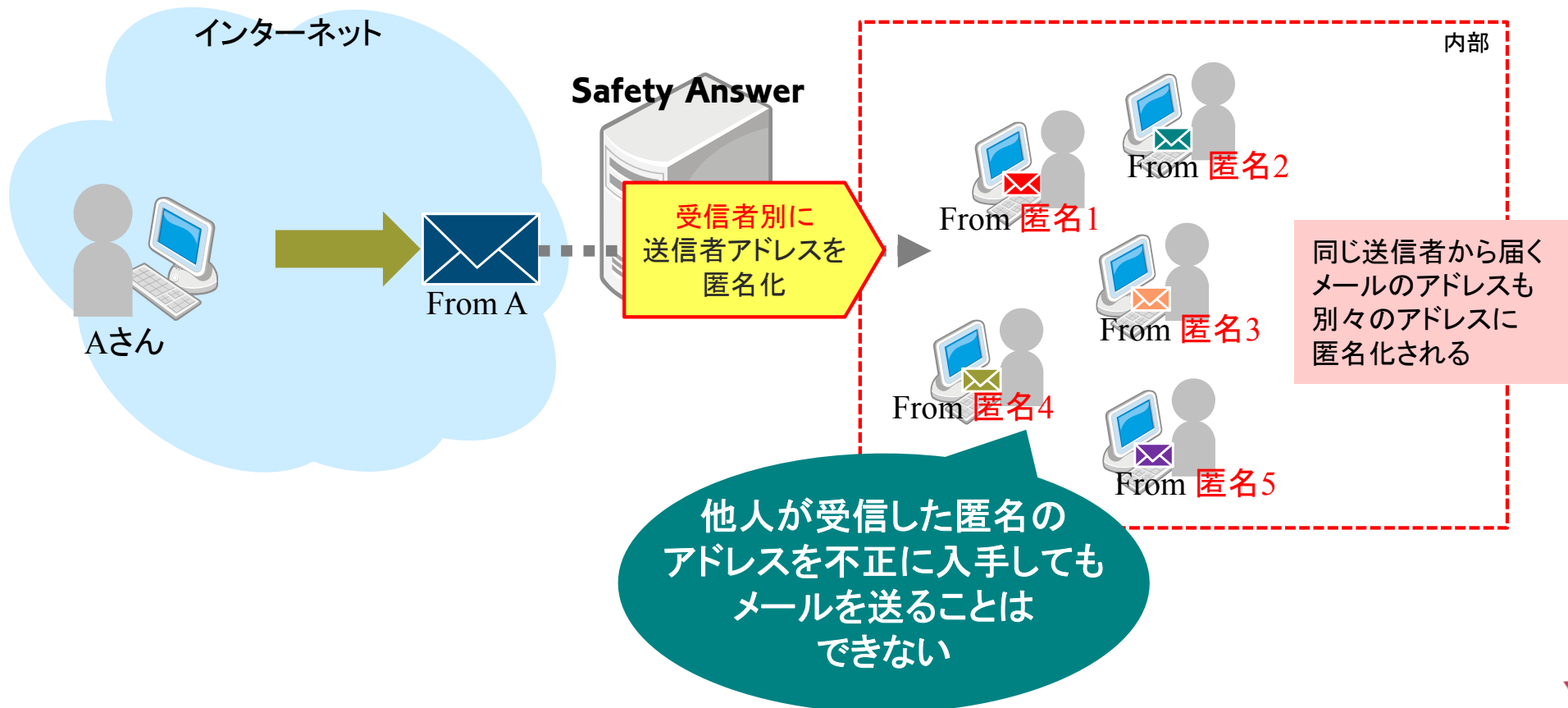


1. Safety Answer で何ができる？（2）

自分に届いたメールの送信者アドレスが盗まれても心配ない

匿名化された送信者メールアドレスは、受信者専用のメールアドレスです。

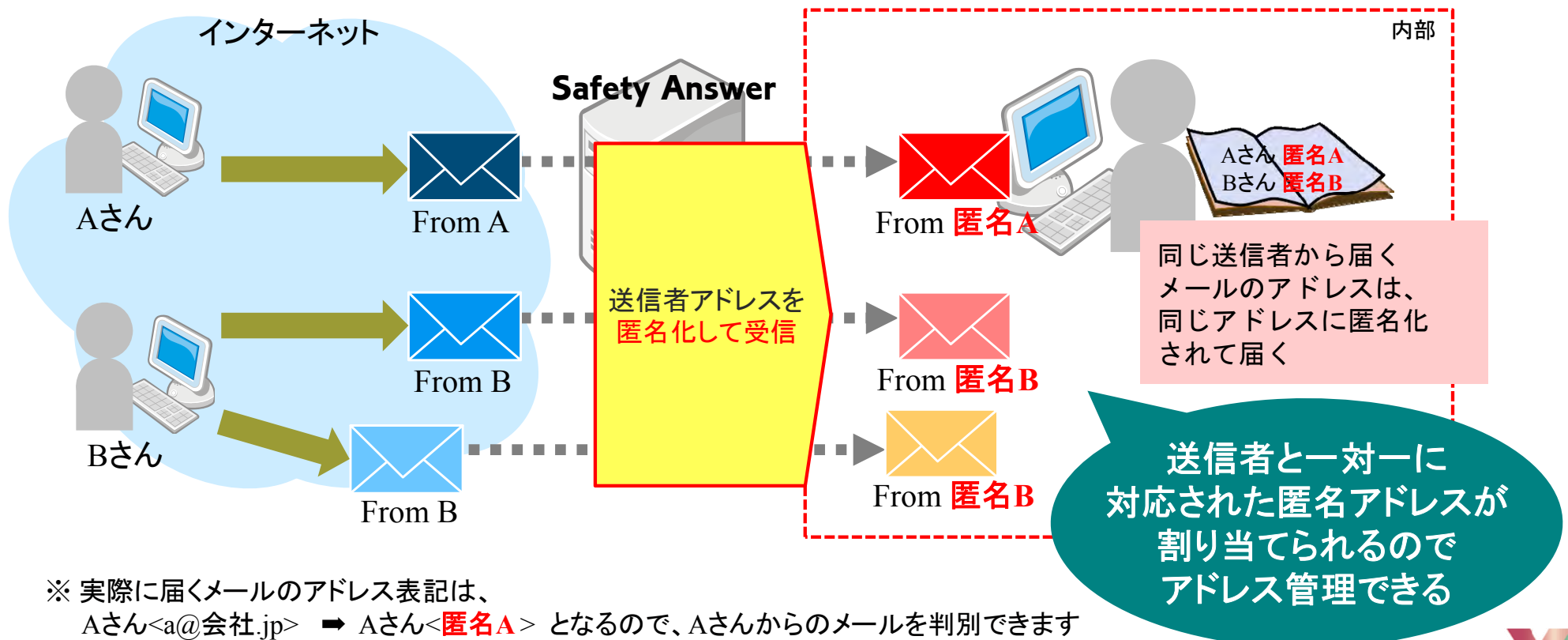
他人に届いたメールの送信者アドレスには、メールを送信することはできません。



1. Safety Answer で何ができる？（3）

本当のメールアドレスを知らなくとも、業務に支障はない

同じ送信者から届くメールの送信者アドレスは、同じ匿名アドレスが割り当てられます。受信した匿名アドレスは、通常のメールアドレスと同様に管理して利用できます。一般のアドレス帳などの管理と違う点は、登録されるアドレスが匿名化されたアドレスだという点だけです。

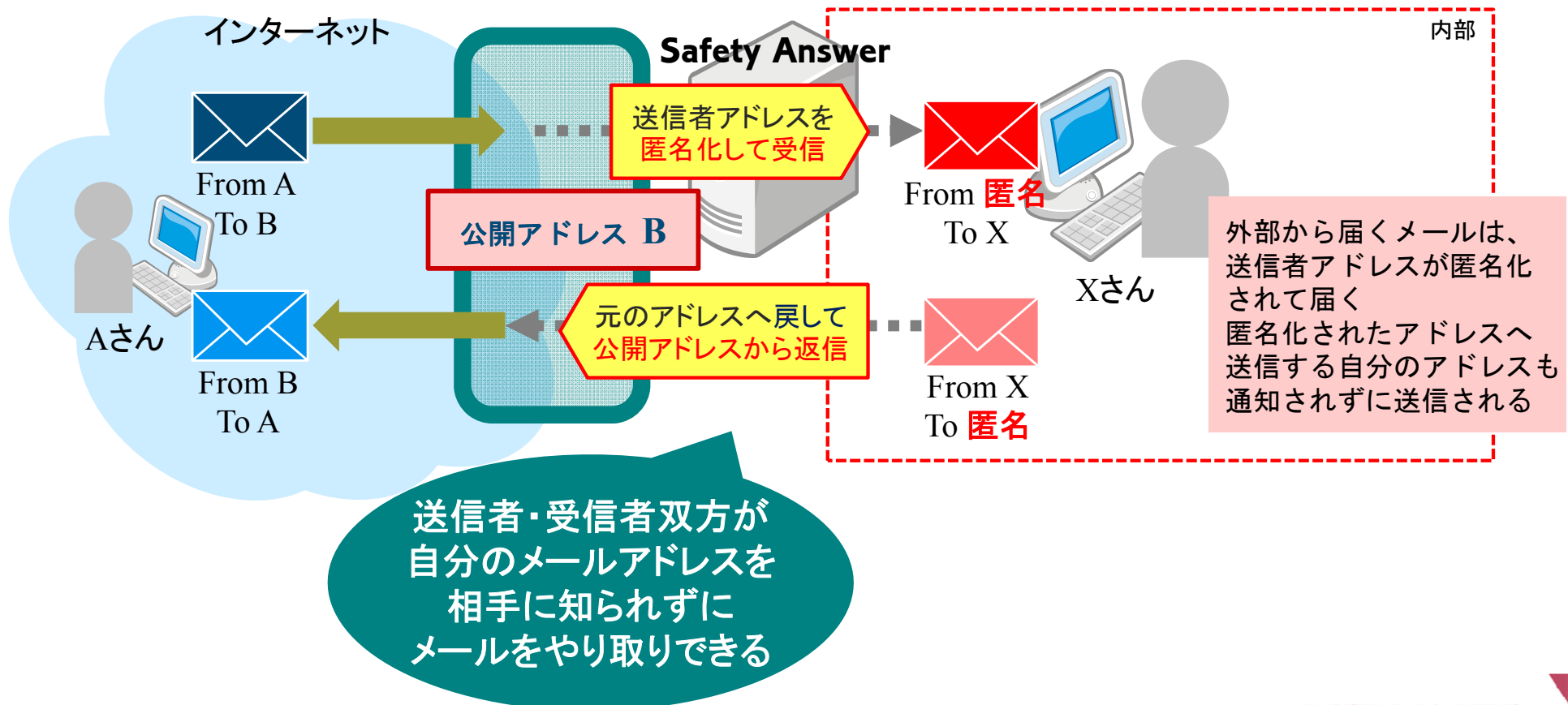


※ 実際に届くメールのアドレス表記は、
Aさん<a@会社.jp> ➡ Aさん<匿名A> となるので、Aさんからのメールを判別できます
本当のアドレスが何かということに注意をしていない限り、業務上の影響はありません

1. Safety Answer で何ができる？（4）

送る側も、受ける側も、双方が匿名でメールを送受信できる

Safety Answer と連携する公開アドレスを挟んでやり取りする全てのメールの送信者アドレスを匿名化することで、WEBサイトなどを利用せずにメールだけで、簡単に匿名の双方向通信が可能になります。



2. Safety Answer が提供する基本的な機能

メール受信者のアドレスを隠す

公開するメールアドレスから転送するメールの送信先を隠ぺいしてメールを返信できます。



メール送信者のアドレスを隠す

公開するメールアドレスへメールを送る送信者のアドレスを匿名化してメールが受信ができ、匿名の相手に返信もできます。



メール送信者への返信を規制

転送先から送信者への返信ができない様に設定できます。



3. **Safety Answer** と既存のアドレス匿名化ツールを比較

メール送信者のアドレスを匿名化してメールを送る方法は多数ありますが、**Safety Answer** は、現状では不可能であった匿名化されて届いたメールの送り主へ正確に返信する手段を提供します。

メールアドレス非通知機能の利用は、メールを受け取る側（**Safety Answer** 契約者）が**個人情報**を**収集しないことを目的**にしています。

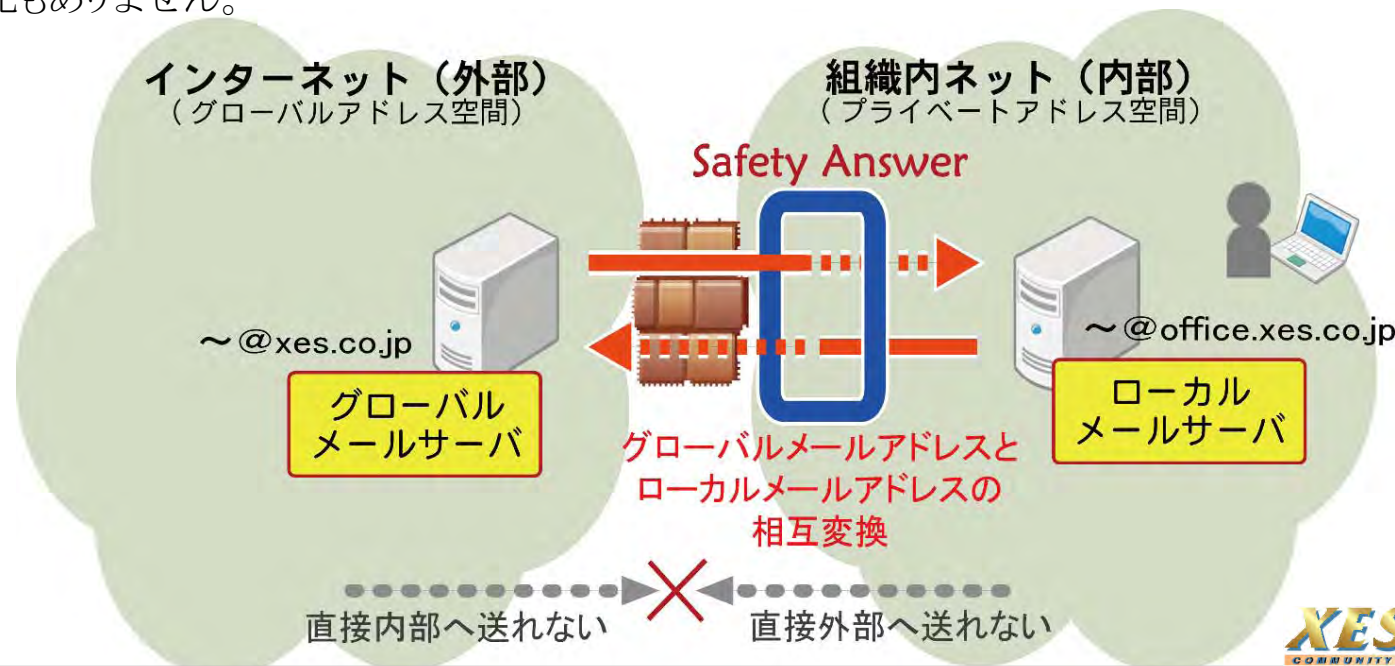
	Safety Answer	既存のアドレス匿名化ツール
利用目的	個人情報漏えい防止 メール送信者のアドレスを収集したくない場合に メールの受信者が利用	送信者アドレス詐称 自分のアドレスを送信先に知られたくない場合に メールの送信者が利用
利用方法	<u>メールを受信する側</u> がシステムを利用して、受信メールの送信者（ 相手の ）アドレスを匿名化する	<u>メールを送信する側</u> がツールなどを入手して、送信メールの送信者（ 自分の ）アドレスを詐称する
送信者のアドレス	秘匿時は、 Safety Answer が管理するアドレスで届く、以外はそのまま	送信者へは返信できない様に違ったアドレスで届く
送信者への返信	送信者へ正確に返信（送信）できる	送信者へは返信できない、戻せない
産業的な利用価値 活用場面	企業や組織での個人情報漏えい対策 匿名相談（学校、労務、健康相談など） メール処理の外部委託ツール 学校連絡網、PTA連絡網 モバイル端末やBYOD活用 他	？

4. Safety Answer の活用例、利用分野（1）

社内と社外をメールアドレスで分離

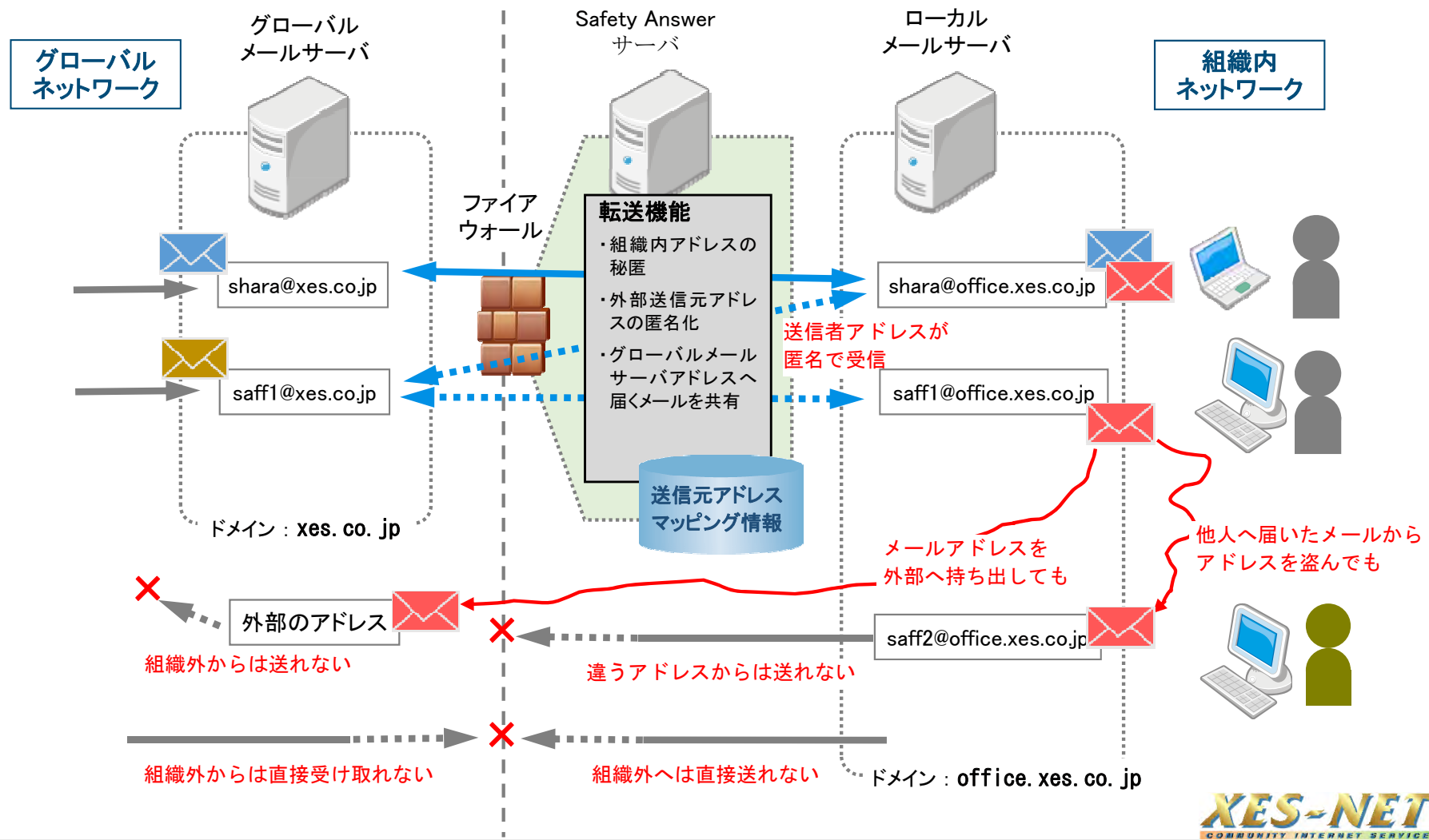
Safety Answer がインターネットへ公開されているメールアドレスへ届くメールを社内ネットのメールアドレスへ転送し、また社内ネットからインターネットへ発信するメールの宛先アドレスを変換して送信処理を中継します。これにより、組織内の利用者は、外部から届くメールのメールアドレスを直接扱うことが無くなり、情報漏えい事故も発生しません。

組織内の利用者は、外部から届くメールの匿名化されたメールアドレスを管理することで、今まで通りにメール送受信処理ができます。内部、外部の使い分けの意識も必要がありません。さらに、組織内の利用者が直接扱うメールアドレスは、全てが組織内だけで有効なメールアドレスとなる為、個人情報漏えいの心配もありません。



4. Safety Answer の活用例、利用分野（1）

社内と社外をメールアドレスで分離

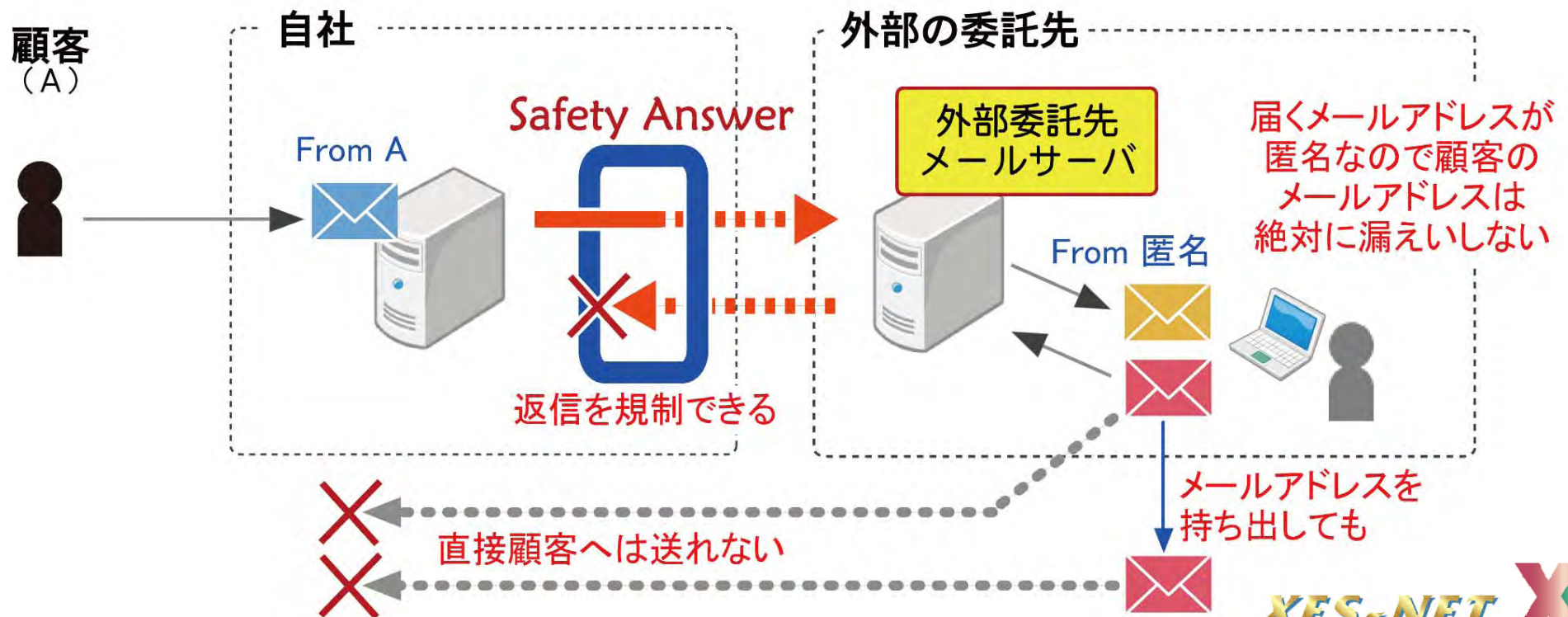


4. Safety Answer の活用例、利用分野（2）

顧客のメールアドレスを伏せて業務を安全に外部委託

ユーザサポートやネットショップへの問い合わせなど、自社の顧客から直接届くメールの処理を外部へ委託する場合に、顧客のメールアドレスを匿名化して業務委託することができます。

外部委託先に届くメールの送信者へは、**Safety Answer** を介してのみ返信できます。転送設定で返信を規制すれば、勝手に自社顧客へは連絡を取れなくすることができます。仮に委託先からメールアドレスが持ち出されたとしても、自社の顧客へはメールを送れないので、情報漏えいの心配はありません。



4. Safety Answer の活用例、利用分野（3）

匿名の相談窓口として

Safety Answer を利用すると、ホームページなどを制作することなく簡単に匿名のメール相談窓口を開設できます。相談窓口アドレスからのメール転送先は自由に設定できるので、転送先を相談に対応する専門家の個人アドレスなどにすれば、わざわざ事務所へ集まって業務を実施する必要も無くなります。専門家を拘束する時間も短くなり、業務運用に掛かるコストの見直しも可能になります。相談を受ける側も、時間による拘束が少なくなったことで、同時に複数の業務をこなすなど業務効率化につながります。

また、**Safety Answer** の選択は、複数の業務を一つのメールアドレスでこなすことを可能にします。わざわざ別のメールアドレスを用意して業務を分けること無く、一つのメールアドレスで全ての相談への対応が可能です。

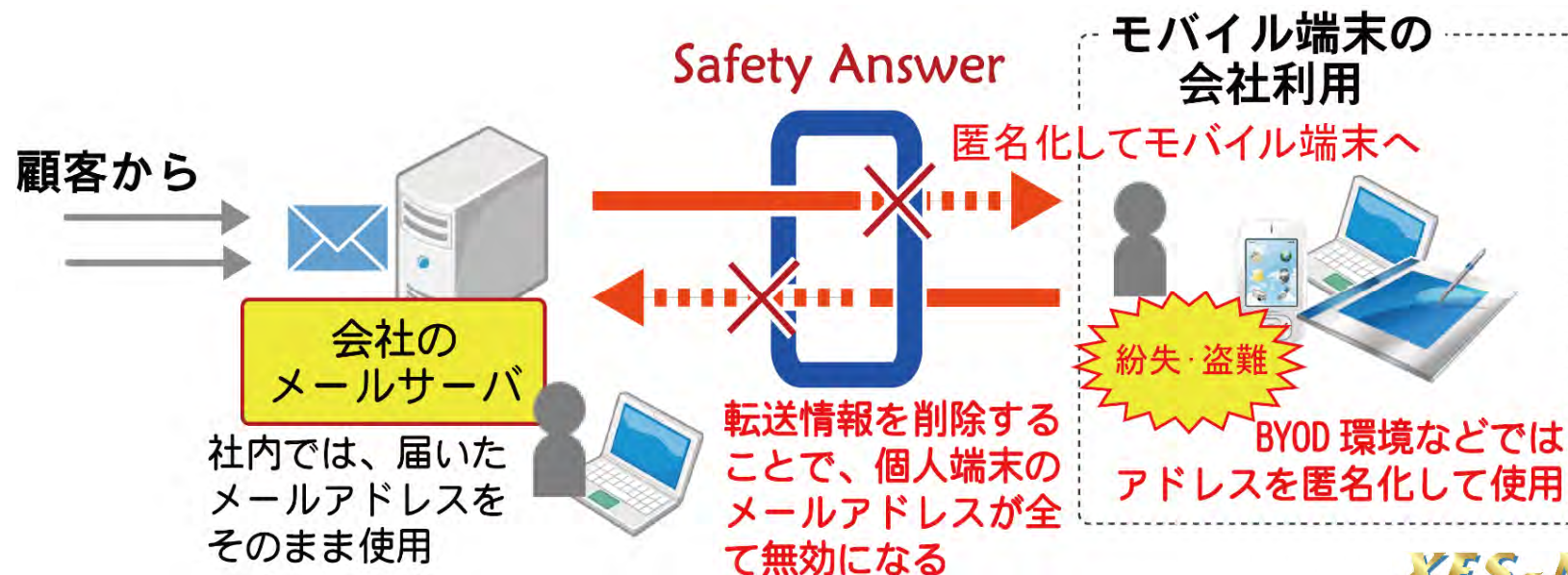


4. Safety Answer の活用例、利用分野（4）

モバイル端末からの情報漏えい対策として

個人が所有する携帯情報端末を会社で利用するケースが多くなっています。もしも端末を紛失してしまったり盗難にあった場合には、顧客のメールアドレスが盗み取られてしまう恐れがあります。リモートで端末のデータを削除しても、一度盗みとられたメールアドレスは救済する手段がありません。得意先に対する信用も失墜してしまいます。

Safety Answer を利用して、個人の情報端末へメールを転送する際にアドレスの非通知設定をしておけば、もしも情報端末を紛失してもメールアドレスが漏えいすることはありません。また、転送規制と返信規制を設定すれば、紛失した端末への配信は停止し、顧客への返信もできなくなります。そして最終的には転送情報を削除すれば、盗み見られたメールアドレスは全て無効になります。

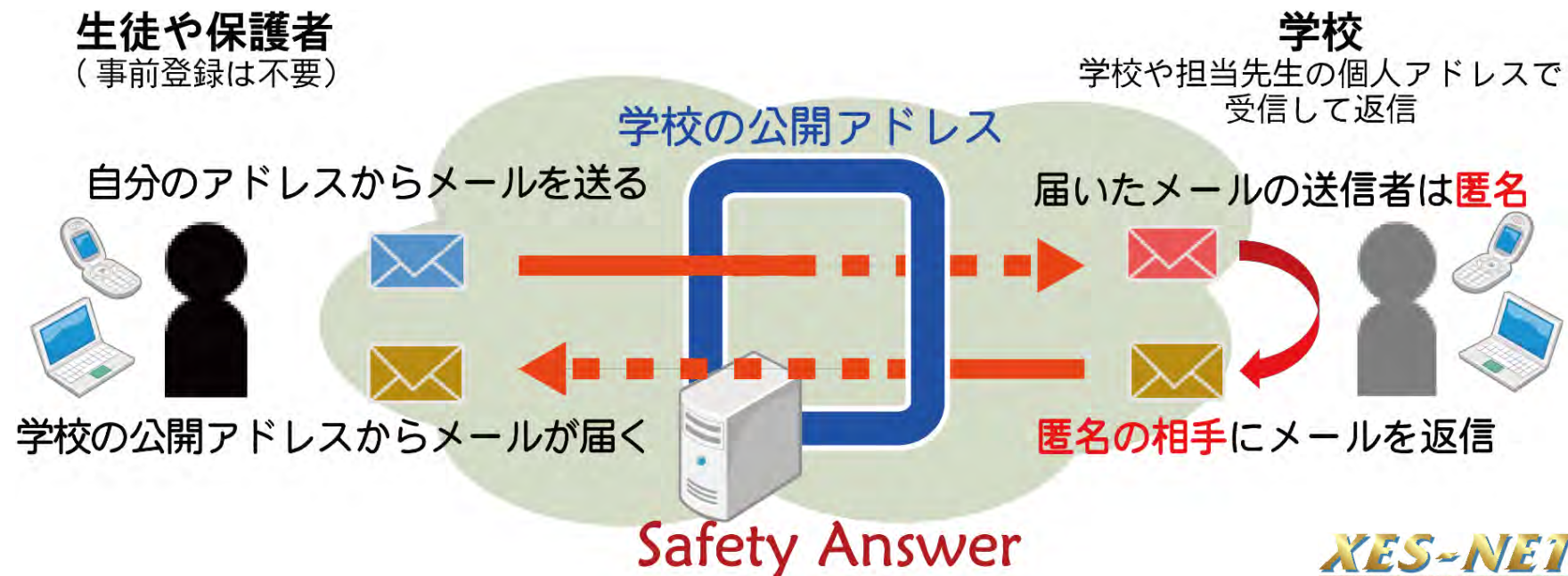


4. Safety Answer の活用例、利用分野（5）

学校教育での利用

Safety Answer は、いじめ問題などに代表される学校教育の課題への対応策として、匿名の双方向相談窓口を手軽に提供します。問題把握のために実施するアンケート調査などでは、生徒や保護者からの一方向の情報収集しかできませんが、**Safety Answer** を利用すると、メールだけを利用して双方向のアンケート調査や個別の匿名相談が可能になります。

Safety Answer の選択は、学校側が生徒・保護者へ向けて、個人情報収集せずに重要な連絡を取り合うことができる連絡手段を開設することになり、生徒・保護者向けに利用価値の高いホットラインを設けることができます。



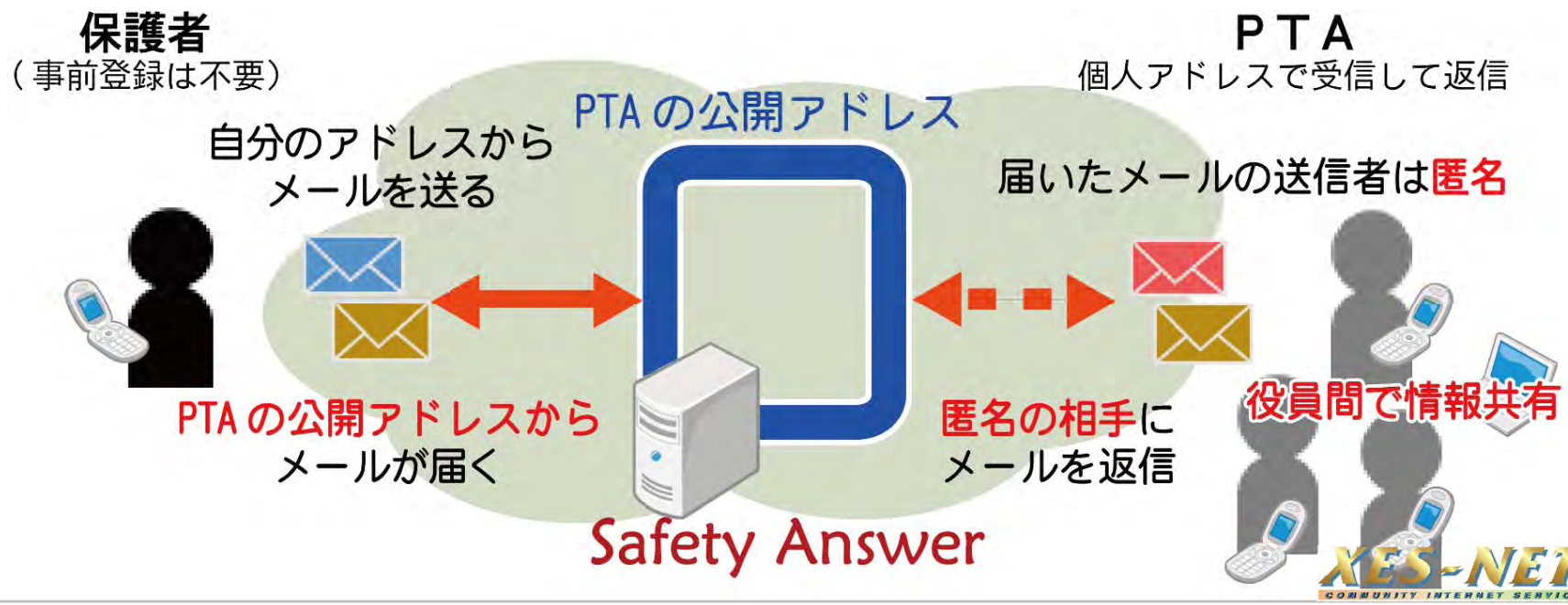
4. Safety Answer の活用例、利用分野（6）

学校PTAでの利用

PTAの役員になると多くの保護者と連絡を取る必要から、自分のプライベートなメールアドレスを公開することを余儀なくされます。そして、子どもが卒業して学校と縁が薄くなってもメールが途絶えることが無く、せっかく子どもの名前で取得した大切なメールアドレスを変更することになってしまいます。

そんな時に、**Safety Answer** でメールアドレスを取得してPTAの公開アドレスとして利用することで、個人のメールアドレスを隠したまま、保護者からのメールを受信して返信することができるようになります。

さらに、受信アドレスを非通知と設定することで、PTAへ連絡をしてくる保護者のアドレスも匿名化できるので、PTA役員、保護者の双方が自身のメールアドレスを隠して連絡が取り合うことが可能です。



5. その他

Safety Answer は、XIIGW サーバ(自社開発のSMTPメールサーバ)の機能拡張モジュールの形式でシステムを実現しています。XIIGW サーバは、ISP事業に於いてウイルスチェックとスパムチェックに利用し、既に豊富な稼働実績があります。本システムのメール処理の多くは、実績のあるXIIGW サーバが担っています。システムを稼働させるためのサーバシステム要件は以下の通りです。

【稼働OS】

Windows Server 2008 Windows Server 2008 R2

Windows Server 2012 Windows Server 2012 R2

【必要な機能、サービス】

IIS SMTP Service .NET Framework 4.0 メッセージキューサービス

MS SQLサーバ(Express Edition可)

【その他】

ユーザドメインのDNS設定変更が必要になります。(MXレコード及びAレコード)

サーバハードのCPU、メモリ、ディスクに関しては、前記環境のサーバシステムが余裕を持って稼働する環境が必要です。運用環境によっては、追加の要件が発生します。

■ 公開メールアドレスに利用できるメールサーバ

現時点で連携できるのは、IMailサーバ、e-Postメールサーバ、Sendmail、Gmail が確認済みです。

株式会社エクセス 
<http://www.xes.ne.jp>

〒179-0085 東京都練馬区早宮1-18-15
mailto:info@xes.ne.jp
TEL 03-3991-5716 FAX 03-3991-3896

XES-NET
COMMUNITY INTERNET SERVICE



Safety Answer (セイフティ・アンサー)は、商標登録申請中です